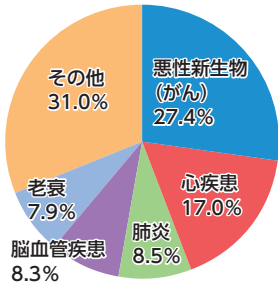


# 知っていますか？ 活躍世代の女性に多い 「がん」のこと

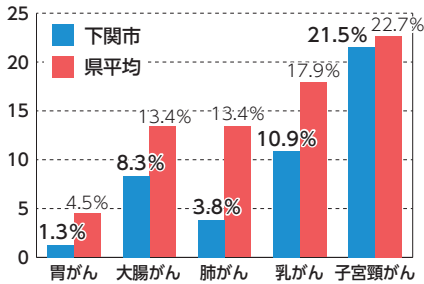
最近、テレビなどでもよく聞く「がん」について、どこか人ごとに感じていませんか？ 人口の高齢化により日本人の3人に1人はがんで命を落としています。

しかし、がんは医療の進歩などにより、特に進行していない早期の段階で発見し、適切な治療を行えば高い確率で治癒します。

自分だけでなく、家族や大切な人のためにも正しくがんを知ることから始めましょう。



平成26年 死亡原因の割合(下関市)  
※死亡総数3,453人



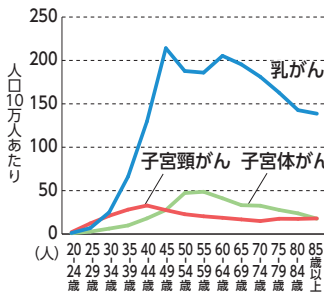
平成26年度 がん検診受診率(下関市) 男女計

一般的にがんは聞くと高齢者に多い病気に思えますが、若い世代で罹患率が増加しています。女性特有の乳がん、子宮体がんの発生には、女性ホルモンの一種である「エストロゲン」が深く関わっています。初潮時期が早い人や閉経時期の遅い人、出産経験のない人などは、エストロゲンの影響を長期間受けているため、若い世代から発症リスクが高くなると言われています。

検査を受けて発見されたがんは早期の割合が高く、症状が出てから外来受診して発見されたがんより治癒する人が多いことが分かっています。

しかし、下関市のがん検診受診率は山口県の平均より下回っています。

2人に1人はがんになる！  
受けよう「がん検診」



平成24年度 乳・子宮がん 罹患率(全国推計)女性

若くてもがんになる

私のがんと分かったのは46歳の時でした。体調も良く、全く想像していなかったんです。自分は元気だと思いき、検診を受けていませんでした。

ある日、風呂上がり何気なく胸を触ったときにゴロツとしたものが手に触れたんです。その瞬間、「がんだ」と思いました。その時は、まだ乳がんのこともその重大性も分かっていなくて…。

しばらくして病院に行き入院・手術・治療を受けました。幸いにも今は年に1回の検査を受けるだけになりました。ようやく、がんを経験したことが自分の個性なんだと思えるようになり、皆さんに自分の経験を話すことで少しでも役に立てるならこの活動をしています。自分とがんは無関係と思わず、みんな等しくなる可能性があります。私のように後悔をしてほしくないから、面倒がらずに検診を受けてほしいです。

## 乳がん患者会

### 「フオワード」

「心も元気になってほしい」

乳がんの治療を乗り越え、不安や悩みを経験しつらい思いをされている、あなた。一緒に泣いて笑って、そして前を向いて明日からのために元気になりましょう。

市民病院 経営企画グループ  
(☎231-4111)



会長 稲田 由美子さん

## 乳がん講話会

「みんなで考えよう」

乳がん

10/8(土)  
午前10時

あなたの大切なからだを命を守るために、まずは「知ること」から始めてみませんか。

函長島由紀子氏(下関医療センター乳腺・甲状腺外科部長)

函長島由紀子氏(下関医療センター乳腺・甲状腺外科部長)

函長島由紀子氏(下関医療センター乳腺・甲状腺外科部長)

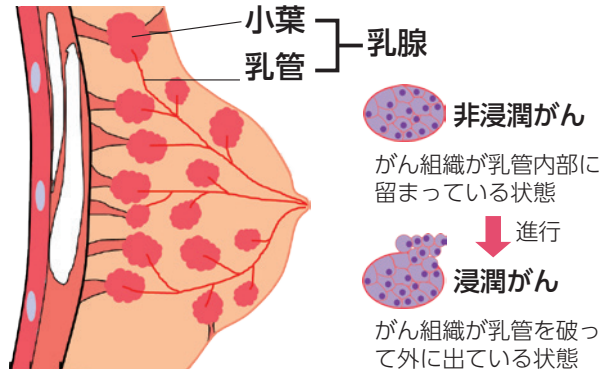
函長島由紀子氏(下関医療センター乳腺・甲状腺外科部長)

函長島由紀子氏(下関医療センター乳腺・甲状腺外科部長)

# 乳がん

発症のピークは40歳代後半～50歳代前半

検査は万能ではないだからこそ定期的



## 乳がんは誰でもなる

乳房は皮膚、皮下脂肪、その下の乳腺組織で成り立っており、乳がんのほとんどは乳管から発生します。乳がんになる原因はまだ不明ですが、女性ホルモンのエストロゲンが影響することは分かっています。

女性を女性らしくするホルモンが関係するとすれば、それは防ぎようがないことです。



乳がん検診読影委員連絡協議会  
西原 謙二 委員長  
(にしはらクリニック 理事長)

乳がんは他のがんに比べると生存率が高いのですが、治療が楽だということではありません。放射線治療、ホルモン療法、抗がん剤治療など、多岐にわたって治療を受けることで生存率を上げることができます。

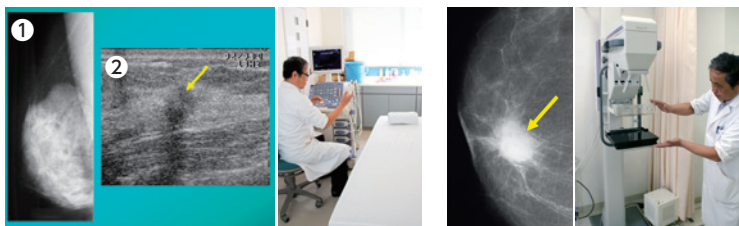
## 他のがんに比べ生存率が高い

乳がん検診は40歳以上とされ、若い世代の人は検診を受ける機会が少ないので、見逃されるケースが多く、進行した状態で見つかることもあります。検診で局所に留まっている癌の下のリンパ節に転移がない状態で発見できれば治療がしやすく、体への負担も軽減できます。

検査としてはマンモグラフィが一般的です。乳腺組織は白く、脂肪組織は黒く映る。乳がんは白く映るため、乳腺組織が発達している若い人では見極めるのが難しく、加えて、少量ながら放射線を浴びてしまうという弱点もあります。しかし、高齢になるにつれ、乳腺が脂肪に変わり黒く映るようになる。反対に乳がんは白く映るので発見しやすくなります。マンモグラフィは2人の医師が見落としのないようにチェックする体制が整っています。

超音波(エコー)検査は、放射線を浴びずに検査ができ、乳腺組織が豊富でも乳がん組織は黒く映るため発見しやすい。しかし、検査

者の技術や経験に左右されるので、現時点においては、市のがん検診の方法として取り入れられてはいません。



### 超音波(エコー)

マンモグラフィ(①)で乳房が白く映る場合は乳がんが分かりにくいですが、超音波(②矢印)ではよく分かる

### マンモグラフィ

マンモグラフィで乳房が黒く映る場合は白い乳がんがよく分かる(矢印)

## 月1回のセルフチェック

平成29年度から乳がん検診の視触診がなくなります。これは医師が視触診をしても発見率がかわらないことが分かったからです。ところが、きわめて小さながんが見つかるきっかけは、自分で触れたり、見たりして気付く「いつもとは違う」という感覚です。

## 乳がん検診

① 満40歳以上で偶数年齢の女性  
② 各協力医療機関 ③ 問診、視診、触診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ)  
※超音波検査はありません ④ 1,700円

### 無料クーポンを使おう!

⑤ 平成27年4月2日～平成28年4月1日までの間に40歳になった女性 ※対象者には6月にクーポン券を配布しています

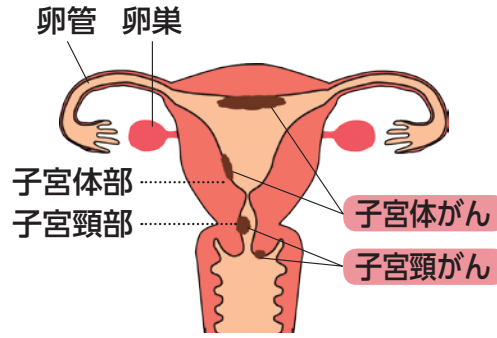


## セルフチェック

- 鏡に向かい、腕を上げて乳房の変形や左右差がないか
- 渦を巻くように手を動かして、乳房にしこりがないか
- 乳頭からの分泌物に血が混じったりしていないか

風呂上がりに鏡の前に立ち、自分の体をチェックしてください。「いつもと違う」感覚は本人でなければ分からないのです。乳がんをむやみに恐れすぎることはないですが、がんの事を知って「正しく恐れる」ことが大切です。

# 子宮がん



## 子宮頸がん 子宮体がん

### 子宮頸がんの発症 若い世代に急増中

体がんは閉経後50歳〜60歳代にピークを迎えるのに比べ、頸がんの発生は40歳〜50歳代に多く、最近では20歳代の若い年齢層に急増しています。

理由としては、性に活動的になったことも上げられます。進行すれば妊娠や出産の機会を奪うほかか命をも奪いかねません。女性

体がんは閉経後50歳〜60歳代にピークを迎えるのに比べ、頸がんの発生は40歳〜50歳代に多く、最近では20歳代の若い年齢層に急増しています。

ら10年かけて、一部ががんに進行します。

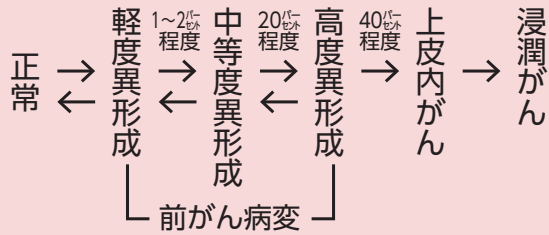
### 子宮頸がんの発症 若い世代に急増中

体がんは閉経後50歳〜60歳代にピークを迎えるのに比べ、頸がんの発生は40歳〜50歳代に多く、最近では20歳代の若い年齢層に急増しています。

理由としては、性に活動的になったことも上げられます。進行すれば妊娠や出産の機会を奪うほかか命をも奪いかねません。女性

体がんは閉経後50歳〜60歳代にピークを迎えるのに比べ、頸がんの発生は40歳〜50歳代に多く、最近では20歳代の若い年齢層に急増しています。

### 正常細胞から異形成・子宮頸がんになるまで



※HPV感染後、平均5〜10数年で一部ががんへと進行する

### 検査は数分 子宮の入り口「頸部」から

検査方法は、問診、視診、内診そして細胞診があり、一般的な子宮がん検査は子宮頸部細胞診です。ヘラやブラシで頸部を優しくこすって細胞を採取するので、ほとんど痛みはなく、短時間で済みます。

6カ月以内に不正性器出血、月経異常、褐色のおりもの症状がある人は本人の希望があれば引き続き子宮体部細胞診を受けることができます。こちらは、軽い痛みや少量の出血を伴うことがあります。

### 検診受診率の低さ

先進諸国では、受診率が約70%であるのに日本ではなぜ低いのでしょうか。国や県は受診率50%を目指していますが、下関市の平成26年度の受診率は21.5%と大きく下回っています。受診率が低い理由



下関産婦人科医会  
藤野 俊夫 会長  
(藤野産婦人科医院 院長)

由として、「自分は健康であり検査を受ける必要がない」「仕事上時間がとれない」「費用がかかり経済的に負担がある」「検査が痛くないか心配、婦人科に行きにくい」などがあるようです。



### 予防ができる 子宮頸がん

予防には2つの方法があります。まずは、定期的に検診を受けること。

### 子宮がん検診

◎満20歳以上の女性 ◎各協力医療機関 ◎問診、内診、細胞診  
◎頸部のみ1,200円、頸部・体部2,000円  
※体部検査は医師の判断による

### 無料クーポンを使おう！

◎平成27年4月2日〜平成28年4月1日までの間に20歳になった女性 ※対象者には6月にクーポン券を配布しています

と。早期の段階で発見し治療すればがんへ進行することが防げます。もう1つは子宮頸がん予防ワクチンの接種を受けること。このワクチンは子宮頸がんの原因とされる数種のハイリスクHPVの感染を予防する効果があり、子宮頸がんの発症リスクを下げる事が推測されています。

しかし、ワクチン接種後に、ワクチンと因果関係が否定できない持続的な痛みなどの副反応が認められたことから、国は現在、定期接種の積極的な推奨を一時中止しています。

子宮頸がんは予防できます。下関市では、年間通じて検診を行っています。不正性器出血などの自覚症状がなくても大事な体を守るために検診を受けましょう。



# 下関市がん検診のご案内



市のがん検診は、職場などで検診を受ける機会のない方が対象です。いずれも年度内に1回受診できます。  
※協力医療機関については市ホームページを参照するか下記まで問い合わせください

## 胸部健康診断(肺がん検診)

☑️ 満40歳以上

☑️ ①市役所本庁舎新館3階(日にち指定あり)※14  
☎️ 参照 ※予約不要

☑️ ②胸部検診車 ※予約不要

**【近日の予定】**

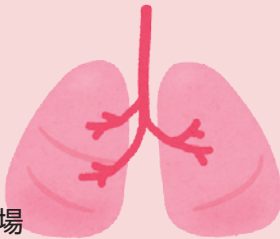
10月12日(水)王司公民館  
10月19日(水)小月公民館  
10月27日(木)王喜公民館  
11月2日(水)JA清末集荷場  
11月9日(水)玄洋公民館

受付時間=午前9時~11時30分

☑️ 問診、胸部エックス線検査、痰の検査(市の検診で胸部エックス線検査を受けた方の内、満50歳以上でヘビースモーカーの方)

料胸部エックス線=無料、痰の検査=500円

※痰の容器は受診会場で配布



## 大腸がん検診

☑️ 満40歳以上

☑️ 各協力医療機関、唐戸・新下関・山陽・彦島の各保健センター

☑️ 問診、検便(便潜血検査)

料300円

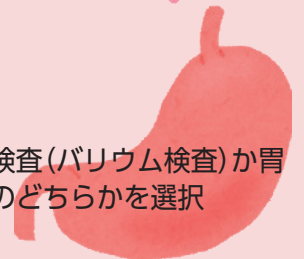
## 胃がん検診

☑️ 満40歳以上

☑️ 各協力医療機関

☑️ 問診、胃部エックス線検査(バリウム検査)か胃内視鏡検査(胃カメラ)のどちらかを選択

料2,400円



## 平成29年4月からがん検診の対象者などが変わります

- ▷ 各がん検診の受診年齢の基準日: 3月31日(その年度末)時点の年齢に変更  
(例)平成29年度は、平成30年3月31日時点の年齢
- ▷ 胃がん検診: 対象者=50歳以上の偶数年齢の方
- ▷ 乳がん検診: 検査方法=問診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ)※視触診はなくなります

## 前立腺がん検診

☑️ 満50歳以上の男性

☑️ 各協力医療機関

☑️ 問診、国際前立腺症状スコア判定、血液検査

料1,000円

## 知っていますか? 自己負担金免除制度

がん検診(乳がん、子宮がん、胃がん、大腸がん)、痰の検査の対象年齢の方で次のいずれかに該当する方は、自己負担金が免除されます。制度を利用する方は、確認できるものを持参のうえ、受診先窓口申し出てください。

※受診後の適応はできません

- ▷ 満70歳以上の方(年齢確認のできるものを提示)
- ▷ 後期高齢者医療被保険者の方(後期高齢者医療被保険者証の提示)
- ▷ 生活保護受給世帯の方(生活保護受給者証の提示)
- ▷ 市民税非課税世帯の方(事前に成人保健課に申請して発行する「がん検診等受診料免除確認書」か世帯の非課税証明書を提出)

## 問い合わせ先

### 保健部成人保健課(☎231-1935)

唐戸保健センター (☎231-1233)

新下関保健センター(☎263-6222)

山陽保健センター (☎246-3885)

彦島保健センター (☎266-0111)

菊川保健センター(☎287-2171)

豊田保健センター(☎766-2041)

豊浦保健センター(☎772-4022)

豊北保健センター(☎782-1962)

数とも1970年代から一貫して増加しています。



下関市保健部長 福本 怜

しかし、診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、そして早期治療が可能となりました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんによる死亡率を減少させることができ、正しい知識を持ち、がん検診を受診しましょう。